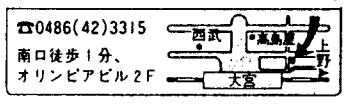
BIG BAD CAT

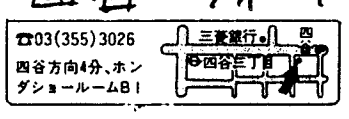
vol.9
1988. MAY. JUNE

6/8(水) 大宮「フリークス」



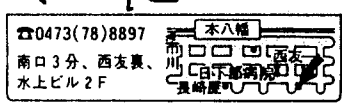
P.M. 6:30
埼玉のTOMCAT CLUB メンバー!! 全員集合するべし!!

6/9(木)・7/12(火) 四谷「フォーバレー」



P.M. 6:30
¥1800-
2バンド

6/17(金)・7/17(日) 本八幡「ROUTE 14」



P.M. 6:30
¥1800-
2バンド

☆ 8月のツアースケジュールが出来上がりつつある。とりあえず決定した分を連報すると、8/23(火)大阪「ミューズホール」
8/25(木)名古屋「モレ・L」おっと抜かした。8/20(土)徳島「シビックセンターホール」。あと2ヶ所ぐらいが入る予定。それと、7月～8月にかけて、何本かイベントやお祭りの出演も入ってきてる。決定し次第、お知らせします。いっぱい来てね!

☆ 6月の歩行天は ~~29日~~ special!! 5日. NG!: 19日・26日。(~~なんだ全部じゃんー~~)。7月は10日・31日の予定!

☆ 6/1～6/6までTOMCAT号は車検です。関係ない。失礼しやしたぇー。どっこい! 金が要るんだよっ、金がぁ。ますますみんなの小遣いまきあげるゼィ♡と日夜ステージングの研究にハリキッてるTOMCAT一同でした。ちゃんちゃん♪

めんな まぁ、そォカタイこというなよ♡に

というワケで、誰もが予想していたトーリのことが起こったワケでがす。どーせ、いつかやルと思ってたんだろうが、(あたいも思ってた)、さすがとゆーか、何とゆーか、みんなからの「どーしたんだ!?」の手紙は、予想外に少なかった。なるほど、みなさんも毎日ポストをのぞきつつ、「TOMさん今度はどんな言いワケ聞かしてくれるのか楽しみダワ♡」とかニヤケながら、じっと不気味な沈黙を守ってらしたのね♡やなヤツ! そーゆうやなヤツらとは、この先長いつき合いになりそォなので、ひとこと「ゴメンナサイ!!」でもって、何ごともなかったかのように、しゃあしゃあと5月、6月、合併号、届けるぜっ!! かねてから要望の高かった、あたいの歌詩に関する特集号だっ! コレはハっきりいって自分のハダカを公表するような気分だが、スッパリ脱ぎます! 一挙公開!

TOMさんがいっぱい

「よく、こーゆう詩が書けますね」とか、「TOMさんは詩がイイ」とか、ほめられると、スナオに「そォ? イイ? やったぁー♡」としか思えないあたいは、「どーすれば…?」とか「どんな所を意識して…?」とフっこまれると、いっしょうけんめい寝たふりします。でも、そーゆうこと、ちゃんと分析してくれる人たちもいるワケで、人から言われて納得してます。おもしろいよ、「モジギリ型だね」とか……。そーいえば行の終わりを名詞や動詞で言い捨てる事多いかなとか、助詞が少ないかなとか…。「ストーリーの無い詩なのね」って言われてみると、そーいえば、1ばんとこばん入れかえてもあんま変わんなかったりね(笑)。「話し口調をそのまま詩にするでしょ」とか「映像的だね」とか「毒があるし」とか、イイ気になってヘラヘラ聞いてます。でも、そーゆう表現方法や技術的な部分じゃない所で、あたいはあたいなりに、かなり詩にコダワってます。作り話や、ムードもんの詩ってあんまり好きじゃなくて、その時その時の自分を、もっともっと赤裸々に、シンラツに、感情とか、価置感とか、思いっきり個人的なものをむきだしにした詩を書きたいといつも思ってる。共鳴してくれる人がこれだけいるというのは、誰もが感じる事をあたいも感じて、誰もが考える事をあたいも考えて生きてるふりこ、そーらへん、自分が俗物でよかったなって(笑)。

「曲は書けるんだけど、どーも詩はパスッ!」って人って、その技法的な部分で、上手に詩的な表現しようとしてくじけるみたい。四苦八苦して書いたけど、読みかえしてみてキモチ悪くなってくじけたとかね(笑)。他人を気持ち良くさせてやろうって頭で書こうとするとそーなるよね。自分でキモチ良くなるうがあたいは好き。「ぶっ殺してやる…」って思ったら、「ぶっ殺してやる!」って書けば気持ちイイし、朗読すればもっとスッキリするし、歌えば(シャウトすれば)かなり気もすむワケです。自閉症のあたいは、そうやって処理した感情のカタマリをボロボロどっちこっち生み落としてきてしまっているワケで、かき集めて並べてみると、その一貫性の無さに自分でもあきれてしまいます。ホント、デタラメだと思わない? 言ってること全て違ったりして(笑)。いいの、気分で詩書く人だから。

小学校の時ね、国語の時間に詩を書かされてね、書けないワケよ、やっぱ。感動かすことも無いし、窓の外見たり天井の穴数えたりしても何にもうかんでこなくて、配られたワラ半紙にデカく名前だけ書いて途方にくれてたんだと思う。でね、しょーがないから、「今は国語の時間、詩を考えてる、何にも書けない、5分たった、これで6行目だ…」みたいな実況書いたのよ。外の体育はマラソンでいい気味だとか、今、誰かが提出しに行ったとか、誰かがエンピツ落としたとか、あと何分とか、最後の「やっとチャイムが鳴った」までその調子でね、それが、あとでみんなの前で読まれてほめられたのよ。

その時は何がイイのかわかんなかったけど、今思うと、実に見事な発想の転換だったと思う。この年になると、てすがにそーゆう無意識の新鮮さみたいのは消えうせてしまったけど、今だに、そんな肩スカシとゆーか、おちゃめな客観とゆーのが好きで、ワザとして身についてる。他にも"ヤケクソ"とか"ハッタリ"とゆーワザもあるんだけど、こーゆうワザのおかげで、かなりワサイことやシンラツなことをテーマにしても、サバけた仕上がりになるみたい。あたしが女だってコトも含めて、得な性分ってヤツ。うっしっし♡

歌詞とサウンド(メロディーやアレンジ)は同時に出来る事が多い。詩だけ、曲だけで長いことしまいこんでるのもあるけど、今、バンドでやってるナンバーはだいたい詩と曲同時に考えながら作った曲。何が言いたいかわかる? 言いワケしたいのよ。だから歌詞カードの文字だけ平気でみられるのはハズかしいって。サウンドや歌い方も含めての詩だから、ちゃんとレコードやライヴで聞いてくんなくちゃヤだって。ただ、最近のライヴは未発表曲(レコードになってない曲)が中心なので、ちゃんとライヴに来てくれるよぃ子のためにドバッと歌詞書きます。

マシンガンみたいな歌が多くて聞きとれないところは聞きとれないまんま勝手に想像してほしいんだけど、そろそろ、「なぁるほど、こんなこと歌ってたのね」という答えあわせをさせてあげようじゃないかと。B.B.C.読んで良かったなと。(笑) どーせやるなら、デビューから現在までの全作品の歌詩を一気に書き出してみたいんだけど、時間がなくて残念。あと2枚ぐらいアルバム出したら「TOMCAT全詩集」なんてのも作ってみたい気がする。バンドのスナップ写真なんかもいっぱい挿入してね。うん、いいな。それにはもっとちゃんとした詩書かなきゃね。

「ふられ気分でROCK'n'ROLL」の歌詩はあらためて読んでみると、実に良く出来た歌詩だね。TOM★CAT時代の作品はどれも誠実で生真面目で、"イイ仕事してる職人"って感じ。それにくらべて最近のTOMさんの詩ときたら……(泣)。なんて、どーせ誰も思ってないんでしょ? そーなのよね。頭かきむしって書こうが、鼻歌まじりに書こうが、いきおいあまって書こうが、やっぱりどれも、まぎれもなくあたしの作品なのが不思議。(何言ってんだ?? あたりまえだなっ。) シリメツレツな作品ひとつひとつの中で、ヘラヘラ、ピースかなんかしてるあたしがうじゃうじゃいて、もうそっちこっちあたしがいっぱい。寒気がするけど、現在もてかんに増殖中といったところであります。

TOMCAT研究家におくる、主な作品の流れ、1983～

MIDNIGHT ANGELS / SALLY / 五月の夜の窓際で / クリスマスの頃に / 目をとじて… / パークエリアに今夜9時 / ふられ気分でROCK'n'ROLL / STARDUSTS / MADNESS / ROUTE 16 / サマータイム・ブラティー / ON THE STREET / ダイヤモンド・シンドローム / IJIWARU / 今夜は… / 生まれついてのCRAZY / ひとりぼっちの反乱軍 / FENCE / 京葉レトロライン / SCENE 24 / ROCKS / LADY BLUE / LADY BLUE II / LOVE SONG / 哀愁のハードロッカー / たのしみたい / 死ぬのはこわい / OUR ROAD / ピカレスク / TOUGH BOY / スペシャル・マーケット / WE WILL ROCK YOU / ばかだもん / SATURDAY NIGHT SPECIAL / サイレン / 東京ロックシティー / PLAY! PLAY! / STAY WITH ME / それゆけ MY HEART! / FOR MY FRIENDS / FUCKIN' BOOGIE / NA! NA! NA! / せーの! / あたし / 勝手にしやがる

(作った順)

ざちょーの WAH-WAH TALK

ざ) イキナリだけどさぁ、国道16号線てあるじゃん。あれってさぁ、横須賀から横浜、八王子、三多摩、埼玉、千葉を通ってるじゃない。都内をとりかこんでるワケじゃない。TOMの作品てそこらへんの周辺地区の強がりみたいなものをすごく感じないか?

せ) うん、うん、東京のまわりの半田舎地区独特のノリに思い入れあるよね。

ざ) なんたって千葉県だからな。おされ(おしゃれ)を気取ってもボロが出ちまうよな。そこらへんをひらきなおって、「てやんでぇー」みたいなものがある。

せ) うん、だけどその「てやんでぇー」っていう部分だけで終わってない+αがなんかけっこうよかったりしない?

ざ) そんなにいいか? とんでもねぇぜ(笑)。何が+αになってるかってゆうと、ひがみ根性とか、わがまま、自分勝手、自分のカラに閉じこもるヒネタ性格とか、サイテーの自分の姿をさらけだしてるじゃないか。たとえばさぁ、「FUCKIN' BOOGIE」なんかさ、街かどのアベックにさざ毒づいてたりするじゃない。あの毒づきかたなんかすごいもんあるよな。

せ) そーそー、だからぁ、冷静に見ればざちょーが言ったヒスりだけどさ、それが考えよーによっちゃあ、おもしろい物の見方をしてて、それをまたあーいった形で歌詩にしちゃう、っていう、それはそれでなかなかおもしろいと思うわけだ。

ざ) なるほど、うまくおさめたではないか、パチパチ。それにしても、あの性格にして、この作品あり、というのが言えるな。

せ) 歌詩から性格をたどってったら、相当しりあがりな性格だとゆーことがおわかりいただけんじゃない?

ざ) まーな。メンバーってさぁ、日常のふるまいとかも見てるわけじゃないか。時々、いや、しょっちゅうか、「何だコイツは!」という時がないか?

せ) あるあるある(クイズ百人に聞きました風に)。例えばファンの子たちよりもメンバーはそういった部分を知ってるから、あるていどめんえきがあるけどさ、ファンの子どころか、「ふられ～」の頃しか知らない人たちなんかにとってみれば、そのギャップはかなりのもんなんじゃないかと。でそれをはたで見てると なかなかおもしろい。

ざ) おもしろいどころか、本気で頭ブチ割ってやろうかって時があるぜ。

せ) ふむふむ、そのブチ割ってやろーかってのはたとえばどんな時なのか言ってみ 言ってみ!

ざ) 去年のクリスマスにLIVEやったじゃない、横浜で。ポンコツ車でライブハウスに向かう途中、山下公園の前を通ったら、そこらじゅうアベックだらけでさぁ。そうしたらTOMったら車の中で怒っちゃってるワケ。本気で。「どいつもこいつもFUCKなヤツだ」って。うるせーなと思ったけどさ、思っただろ、で、それはまだよかったんだけどさ。何せクリスマスイブなもんだから、メンバーみんな彼女つれてたじゃない。そしたらこんどはメンバーにまで毒づきやがってさぁ、「おまえらもFUCKINだ」っつって。ヨケイなお世わだっつうの(笑)で、その時思ったんだよね。曲と同じヤツだって。かなりすてきじゃリアリティーをもって感じられたよ。

せ) あの時はなにしろせっこうのシチュエイションだったもんな。クリスマス・イブの山下公園といえばアベックのためにあるよーなもんなわけで、まったく、あん時ばかりはオレもなんて心のせまいひがみ根性だと思ったものだ。正直に彼氏がほしいと言えばよいものを。

ざ) それは言える。そのひとことが言えないTOMのへそまがりな性格ってゆうのはすごいよな。たいしたやつだよ。まねできませんよおれには。

せ) そのざちょーにもまねできないことを歌にしてビーどーと歌ってしまうあたり、まったくあっぱれあっぱれといわしめるものがあるのかもしれんなぁー。

ざ) そーだな。でもそれ以上にとんでもねー奴だって思ったのがさ、「クリスマスの頃」にって曲があるじゃん。その歌詩の一節に「～今の夢は遠いあこがれ、幸せな家庭を築くこと～」ってあるじゃない。へんにすなおに強が憧しで自分を出してるのもあるし、まあ古い曲だけどな。この曲を例のクリスマス・イブの日に演き語りでやったじゃんか。「おめーもFUCKもRだろうが」って、今、いきなり思った。

せ) と、TOMのFUCKな人となりが明らかになったところで、今回はそろそろおひらきにしましょーかね。

ざ) そーだな。ではまとめに入ろうか。TOMは性格がワルい。ビーだ、いきあるか?

せ) いきなし!

ざ) ホントは夢多きそぼくなりな。ビーだ、いきあるか?

せ) いちおーなし。

ざ) そーゆー自分を感じることをカッコ悪いと思ってる。ビーだ、いきあるか?

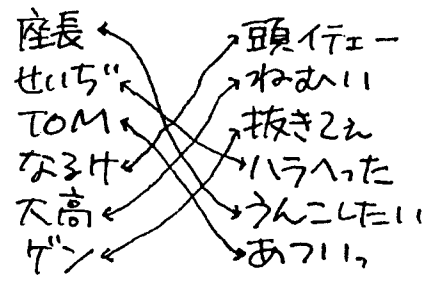
せ) まったくざちょーはよーしゃねーやつだが、これもなし!

ざ) おれの方が性格わりーかな、ま、いいや。そんなもんで、ひっこんで強がり言ってる。ビーだいきあるか。

せ) まったくなし。

ざ) それではということで、アホな男どもひきこんで、どんでもねー曲作って、今のTOMCATになりましたとさ、おしまい。とけてんてんてん。

―ヤクザより、組織より、軍隊よりも強い!―
言いだしたら止まらないコイツのだだ



TOMCAT CLUB
〒197 東京都福生市熊川1123 P-3
(GOK SOUND: 0423-25-4695)